

『2型糖尿病における腎保護を目指した 積極的脂質低下療法の意義』

2型糖尿病患者における脂質低下療法は、心血管疾患のリスク低下のみならず、腎保護作用の面からも期待されている。CARDSサブ解析など最近の臨床試験の結果を紹介し、CKDにおけるスタチンの意義を考察する。

第53回日本糖尿病学会年次学術集会 ランチョンセミナー39



日時:2010年5月29日(土)
12:00~12:50

会場:第2会場 ホテルグランヴィア岡山
4F ファニックス 1/2
〒700-8515 岡山市北区駅元町1番5

2型糖尿病における 腎保護を目指した 積極的脂質低下療法の意義

座長

芳野 原 先生

東邦大学医療センター大森病院 糖尿病・代謝・内分泌科 教授

演者

庄司 哲雄 先生

大阪市立大学大学院医学研究科 代謝内分泌病態内科学 講師

共催:第53回日本糖尿病学会年次学術集会 アステラス製薬株式会社 ファイザー株式会社